

東北地方の太平洋の沖合に設置したブイ式海底津波計の欠測について

東北地方の太平洋の沖合に設置した海底津波計（別紙）3基のうちの1基からの観測データが、4月5日21時から入手できなくなりました。

地震直後の津波警報（第1報）は、地震計のデータをもとに津波の規模等を推定して発表するため、この欠測による影響はありません。

この欠測により、当該海底津波計の近傍の海域が津波発生場所となった場合は、欠測前と比べ津波を検知するまでの時間が最大で6分程度遅くなり、この海底津波計データを用いた津波警報の更新にかかる精査作業に影響する可能性があります。

原因について調査中であり、現在、遠隔操作による復旧作業を試みているところです。原因を特定あるいは復旧した場合はあらためてお知らせします。

本件に関する問い合わせ先：

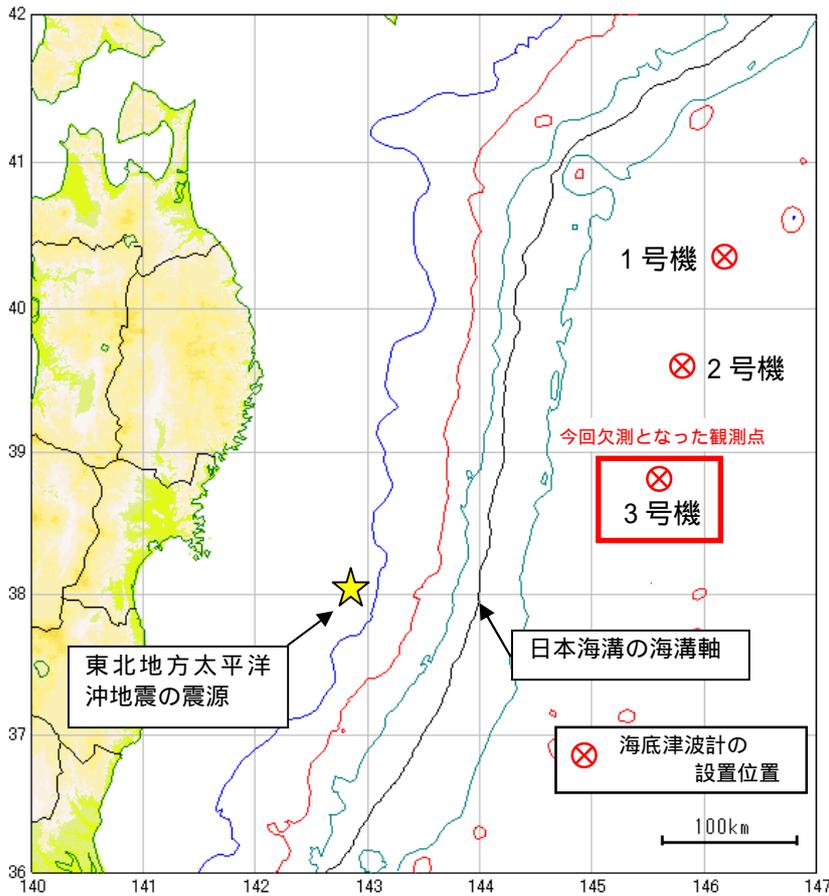
（ブイ式海底津波計について）

地球環境・海洋部海洋気象課 電話 03-3212-8341（内線 5146）

（津波警報について）

地震火山部地震津波監視課 電話 03-3212-8341（内線 4839）

ブイ式海底津波計の設置位置について



[設置位置の緯度経度]
 1号機：北緯 40 度 18 分
 東経 146 度 12 分
 2号機：北緯 39 度 36 分
 東経 145 度 48 分
 3号機：北緯 38 度 49 分
 東経 145 度 36 分

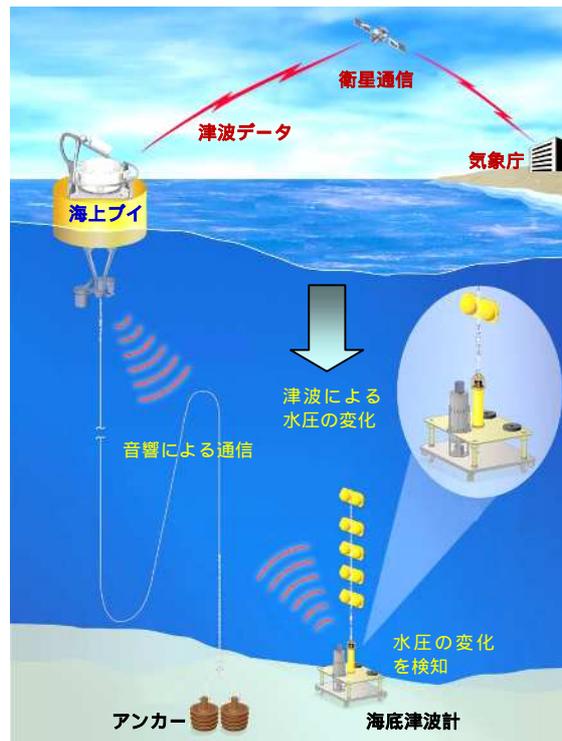
(東北地方の太平洋沖約 300 ~ 400km)

(水深)
 ——— 日本海溝
 ——— 2000m
 ——— 4000m
 ——— 6000m

ブイ式海底津波計の概要



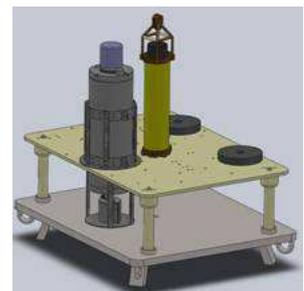
海上ブイ



津波による水圧の変化を海底津波計が検知

観測された津波データ(水圧の変化)を音響通信により海上ブイに送信

衛星通信により津波データを気象庁に送信



海底津波計